



平成 21 年 4 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社ハークスレイ
代 表 者 名 代表取締役会長 青木達也
(コード番号 7561 東証・大証第一部)
問 合 せ 先 常務取締役管理統括部部长 佐子弘和
(TEL. 06-6376-8088)

子会社の業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 4 月 23 日、連結子会社である TRN コーポレーション株式会社が、平成 21 年 2 月期（平成 20 年 3 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日）の業績予想及び配当予想を修正いたしましたので、同社の開示資料を添付のうえ、お知らせいたします。

なお、当社の業績（連結当期純利益及び個別当期純利益）に与える影響は、現在精査中であり、確定次第、5 月上旬を目途に開示をいたします。

以 上

平成 21 年 4 月 23 日

各 位

会 社 名 T R N コ ー ポ レ ー シ ョ ン 株 式 会 社
 コード番号 3 3 5 1 名 証 セ ン ト レ ッ ク ス 市 場
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 松 崎 裕 治
 問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 企 画 部 長 小 島 正 也
 電 話 番 号 0 3 - 5 7 7 4 - 0 2 5 1

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 1 月 16 日付「平成 21 年 2 月期 第 3 四半期財務・業績の概況」に公表いたしました平成 21 年 2 月期（平成 20 年 3 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日）の業績予想、及び期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 2 月期通期業績予想数値の修正（平成 20 年 3 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日）

(1) 連結業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	34,700	278	34	△989
今 回 修 正 予 想 (B)	34,444	△164	△503	△2,191
増 減 額 (B - A)	△256	△442	△537	△1,202
増 減 率 (%)	△0.7	—	—	—
前期実績（平成 20 年 2 月期）	30,440	402	231	△419

(2) 個別業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	1,100	700	530	△470
今 回 修 正 予 想 (B)	1,112	687	551	△990
増 減 額 (B - A)	12	△13	21	△520
増 減 率 (%)	1.0	△1.8	3.9	—
前期実績〔平成 20 年 2 月期〕	1,090	736	514	35

(3) 連結業績修正の理由

当社の 100%子会社である店舗プレミアム株式会社が運営する直営店事業において、今後

の事業計画を検討し、改善が見込まれない店舗について閉鎖の意思決定を行なった結果、固定資産除却損 97 百万円、店舗撤退損失 175 百万円、減損損失 8 百万円を計上する予定です。

また、同じく当社の 100%子会社である店舗流通ネット株式会社が運営する店舗運営事業において、長期未収入金のうち回収が困難と判断した債権 141 百万円、貸貸人の会社更生法申請等に伴う保証金 85 百万円について、追加で全額貸倒引当金を計上する予定です。

さらに、下記（４）個別業績修正の理由に記載のとおり、当社において投資有価証券評価損を59百万円、貸倒引当金繰入額463百万円計上する予定です。

（４）個別業績修正の理由

個別業績における当期純損失の修正につきましては、投資有価証券について、実質価額が著しく下落しているため、投資有価証券評価損 59 百万円計上する予定です。

また、当社の 100%子会社である店舗プレミアム株式会社について、財政状態が悪化したため、貸付金に対する貸倒引当金繰入額をあらたに 463 百万円計上する予定です。

2. 平成 21 年 2 月期の配当予想の修正

（１）修正の内容

基準日	1株当たり配当金(円)		
	中間期末	期末	年間
前回予想(平成21年1月16日発表)	—	500円 00銭	500円 00銭
今回修正予想	—	0円 00銭	0円 00銭
当期実績	0円 00銭	—	—
前期実績(平成20年2月期)	1,000円 00銭	1,000円 00銭	2,000円 00銭

（２）配当予想の修正理由

当社は、利益配分に関しましては配当政策を重要政策のひとつとして位置づけており、着実に収益を確保できる経営体質の基盤構築に努めることで、安定的な配当を行うことを基本方針としております。

しかしながら、平成 21 年 2 月期通期業績の前回予想を下方修正し、当期純損失を計上する見通しとなりましたので、同期連結業績および同期末における当社の財務状況等を総合的に勘案し、誠に遺憾ではございますが、期末配当予想を無配とさせていただきます。

※上記の予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。尚、予想数値に修正が必要になった場合は、判明次第速やかに開示させていただきます。

以 上

平成 21 年 4 月 23 日

各 位

会 社 名	TRN コーポレーション株式会社
コード番号	3 3 5 1 名証セントレックス市場
代表者名	代表取締役社長 松崎 裕治
問合せ先	執行役員経営企画部長 小島 正也
電話番号	0 3 - 5 7 7 4 - 0 2 5 1

今後の事業戦略に関するお知らせ

当社は平成21年2月期におきまして、連結経常損失を503百万円、連結純損失を2,191百万円計上する予定です。当社グループは早期に業績の改善を図るために中期事業計画を策定しておりますが、その概要は以下のとおりです。

事業計画の概要

(1) 選択と集中

- ・ 創業ビジネスである店舗運営事業への原点回帰を図り、景気後退期の環境下においても優良店舗の買取を行うことにより、現在約600店の業務委託店舗数を1,000店舗に向けて安定的に増加させます。
- ・ 業務委託店に対しては、ビジネスフィールドの提供のみならず、食材・資材・人材・マーケティング・財務アドバイス・メンテナンス等のあらゆるサービスの提供を行うことにより、委託店の皆様との相互発展を目指します。

(2) 経費削減

- ・ 直営店における物流コストの見直し及び本社における各種業務委託費用や賃料等の固定費を見直すことにより、さらに経費の削減を行います。

(3) 経営体制の明確化

- ・ 取締役及び執行役員の管掌業務を一層明確化し、機動的な組織運営体制を目指します。
- ・ 減益の責任を明確にするため役員報酬を減額しました。

(4) 財務強化

- ・ 一部直営店舗の売却や保有有価証券の早期の売却を行い、バランスシートのスリム化を目指します。
- ・ 営業キャッシュ・フローの最大化を目指すことにより、企業価値の向上に努めます。

(5) 再生ビジネスへの取り組み

- ・ 当社グループは平成20年12月1日に民事再生手続きの申立を行いました株式会社びっくり本舗より「江戸前びっくり寿司」、「廻店びっくり寿司」等の寿司チェーン店の事業を譲り受けました。事業譲受後の売上は順調に推移しております。今後当事業の再生を行ったうえで、そのノウハウを活かし飲食業界における再生ビジネス業務を展開していく予定です。

以 上